



第1068号  
2008年2月24日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 伊藤裕元

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nskk.org  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇2月の代祷・信施奉献先  
▽ぶどうのいえ▽東京教区神学生(大斎節第1主日)▽浦安伝道所・浦安宣教▽平和を実現するキリスト者ネットの働きのため

◇堅信受領  
2月17日 聖パウロ教会で  
▽阿部真基▽長船淳▽宇田八重子(聖パウロ)

▽五本木九条の会講演会《憲法を学ぶ》 2月27日(水) 18時半、聖パウロ教会。「平和は近い隣人と出会うことから」講師・東海林勤(日キ教団牧師、NCC総幹事、平和・核問題委員)。  
▽聖路加国際病院礼拝堂IIオ  
ルガンコンサート&タの祈り 3月5日(水) 18時半、19時から

それぞれ行われる。演奏者は宮本とも子。入場無料(会場献金)。

◆大斎プログラムつづき

▽練馬聖カプリエル教会読書会 毎水曜日11時半、テキスト

IIヘンリー・J・M・ナウエン著「この杯が飲めますか?」。

▽東京聖マルチン教会大斎講演会 3月2日(日) 13時、講師II堀越喜晴(中部教区長野聖救主教会信徒)。

◆とこしえの平安

1月28日 加藤 島子(85)

1月30日 豊岡 篤郎(94) 聖パウロ

2月1日 轟 博文(59) 聖ガブリエル

2月11日 川島 浪子(86) 目白

2月13日 五十嵐佐和江(80) 聖マーガレット

2月14日 聖アンデレ

今週・来週の予定  
2月24日~3月8日

- 24(日) 大斎節第3主日
- 26(火) 銀座朝拝会
- 28(木) 信仰と生活委員会  
教財務サービス委員会
- 29(金) 事務所主事会議
- 3月
- 1(土) 聖公会神学院  
卒業礼拝
- 2(日) 大斎節第4主日
- 5(水) 教区企画室
- 6(木) 人権委員会  
(聖バルナバ)  
インターネット活用検討特別委員会
- 7(金) 職員会議
- 8(土) 信徒講座(西原廉太司祭)

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

日光真光教会で幼児洗礼を受けたのは、もう60年近い昔である。幼児期の記憶をたどれば教会には人が満ちていた。学齢前に上京し、近所の香蘭女学校の主日礼拝に出るようになったが、ここにも多くの主日会衆がいた。終戦間もない当時、人々は戦時中の抑圧された生活から解放され、自由と新しい価値観を求めて教会へ集まったものと思われる。先日、東京教区では3名の聖職が

聖公会の中で育てられた

按手され、主教座聖堂は4百名を越える人であふれた。働き人が加えられたことへの感謝と希望を多くの人と共有する感動を頂いた。しかし、昨今の教会はといえば、若い人の姿は少なく、礼拝出席者の数は右肩下がり。20年後

山田 益男

たように思える。私たちが育ててくれた先輩方は既に召されたり、動けない状況におられる。普通の日本人に分かる言葉と行動で主の道を伝え、共に生きる喜びを示すのは教会の中で育てられた私たちの務めであろう。

(渋谷聖公会聖ミカエル教会信徒)

## 常置委員会報告(2月12日)

\* 議事に先立ち07年度教区会計(一般・特別等)決算に関する監査報告(財政委員長・財務主事)を受け承認、3月教区会への議案提出を決めた。

\* 吉田尚史(池袋)聖職候補生志願受理、聖公会神学院入学予定者9人(内東京教区からは吉田志願者1人)、日本聖公会総会開催(5月・大阪教区主教選挙を会期中に実施予定)、ソウル教区次期後継主教に金根祥(キム・グンサン)神父を選出等の主教報告。

\* 主教巡回予定、主日聖餐式執行支援体制等の調整に関する、主教チャプレン報告。

\* 非常勤職員との契約更新、教区諸委員の追補辞令、教区会公示、1月収支、信仰と生活委、正

義と平和協運営委の活動、その他関連諸項につき3主事報告。

\* 08年教区フェスティバルの協議(9月23日・立教女学院・開催意図・実行委員長内定等)。

\* 常置委員選挙(教区会)管理委員の公募について確認。

\* その他

◇信仰と生活委員会【早春の信徒講座】講座シリーズ08年度第1回は映画「司祭」と講演

Ⅱ「かすかな声を聴きとろう」講義が教会となるために」。講師Ⅱ西原廉太司祭(中部教区・聖公会神学院特任教員・立教大学キリスト教学科教授)。3月8日(土)、教区会館。13時～14時45分Ⅱ映画鑑賞、15時～16時半Ⅱ講演。参加費500円(映画

のみ参加は無料)。照会は教区事務所・宮脇宣教主事宛。

## ◆大齋節プログラム4

▽目白聖公会Ⅱナザレ修女会を訪ねて礼拝と黙想 3月1日(土)15時～17時半 講師Ⅱ宇田正行司祭(東北教区)。

## ▽東京聖テモテ教会講演会

②3月2日Ⅱ「他者とは誰か」竹内謙太郎司祭 ③16日Ⅱ「エリザベス・サンダース・ホームの働き」小笠原忍司祭(同ホーム理事長・立教学院チャプレン長)各主日13時。

## ▽聖マーガレット教会大齋研修

④3月2日Ⅱ「信仰にとつて闇の持つ意義」魂の深い闇Ⅱ関正勝司祭 ⑤9日Ⅱ「十字架の道行きの黙想」。各主日とも13時～14時半。

## 【学びと働きから】68

## 正義と平和協議会の責務

07年度一年間「正義と平和協議会」議長を務めができたことを主に感謝いたします。さまざまのご支援や励ましがあつたからこそ議長の仕事が続けられました。特に、当協議会に所属している各グループや個人の方、日本社会における正義と平和への「奉仕こそ、当協議会の存在意義を支えた」と信じています。全てが「主に感謝！」です。

「正義と平和協議会」が持つ重要な義務の中で、二つだけご紹介いたします。

(1)「正義と平和協議会」は東京教区にある「正義と平和」を担当するただ一つの組織であります。ですから、もし、この組

織が目すべきある不正や反平和的なものを見落としてしまうと、だれも積極的に拾い上げてくれないことになります。つねにアンテナを高く張って置くべき義務があります。

(2) 何が「正義と平和」であり、何が「不正と反平和」であるのかをだれが決めるのかという問題です。もちろん、神様の言葉にその基準がありますが、どうしても言葉の基にして判断しなければならぬのは人間であり、また神のお遣わしにしたがって取り組むべきものも人間である以上、

私たちが判断しなければならぬのであります。つまり、その人間の判断を下すために論議し取り組むかどうかを決定すべき義務を持つている組織が、「正義と平和

協議会」の各グループや個人になります。このような意味から、まさに「正義と平和協議会」が、「いま・ここ」における「正義と平和」とは何かを判断すべき目に見える具体的な組織であるということになります。

私は、「正義と平和協議会」はこの二つの重い義務をはたすために「その義務を充分認識しているのか、忘れてはいないのか」を常に確認していかなければならないことを強く感じています。

正義と平和協議会議長

司祭 李 民洙

## ▽聖公会神学院卒業礼拝 3

月1日(土) 14時から。説教者Ⅱ加藤博道主教(同院校長代行・東北教区主教)。式後にお茶会。